

電気通信大学 平成19年度シラバス

授業科目名	生体電子工学特論		
英文授業科目名	Advanced Bioelectronics Engineering		
開講年度	2007年度	開講年次	
開講学期	後学期	開講コース・課程	博士前期・後期課程
授業の方法		単位数	2
科目区分	電気通信学研究科-電子工学専攻-専門科目		
開講学科・専攻	電子工学専攻		
担当教官名	内田 雅文		
居室	西8-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
これまで学んできた電子工学の知識・方法論を生体情報の計測・処理・制御へ応用するための基礎技術を修得する。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
適宜、プリントを配布する。

【授業内容とその進め方】
<p>生体電子工学は、医用工学、生体工学のいずれにおいても重要な役割を果たしており、主として生体情報の計測、処理、制御を扱う分野である。この分野はサイバネティックスの観点でとらえるか、医療計測の観点でとらえるかによって興味となる対象やそこで用いられる方法論が異なることもある。この講義では、それらの基本的事項について解説する。</p> <p>第1章 生体情報の計測・処理・制御の概要</p>

電気通信大学 平成19年度シラバス

第2章 生体システムと人工システム

第3章 生体情報の計測技術

第4章 生体電気現象

第5章 まとめ（生体計測の実習）

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

すべてのレポートが受理されていること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、E-mailで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

【その他】